

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (鹿ノ瀬海域 3号)

播磨灘沿岸域を中心に、大型珪藻コシノディスカスが依然として確認されており、栄養塩を多く消費するユーカンピアの増殖も見られています。この海域においても一部の調査地点でユーカンピアが少し見られましたが、漁場内の窒素は概ね  $3 \mu\text{g at / L}$  の値でした。

(水温) 漁場平均 $19.4^{\circ}\text{C}$ 。平年比 $0.7^{\circ}\text{C}$ 高く、概ね昨年並み。(塩分) 平均 $31.89\text{psu}$ 。前回 (31.80) より約 $0.1\text{psu}$ 高い。  
 (栄養塩、珪藻) コシノディスカスの発生量は、この海域全般に海水1Lあたり $50\sim 100$ 細胞で前回 (11/12) 調査と比較し減少傾向にある。今回調査が北西の風波直後であったことから、沿岸域で大量増殖しているユーカンピアがこの海域北東部やカンタマにおいても少し (海水1mlあたり $30\sim 40$ 細胞) 確認され、地先の栄養塩が低下した海水が波及していたものと考えられる。南東部から西部域にかけてはユーカンピアは見られず、窒素は $3 \mu\text{g at / L}$ 台であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	20.7	19.4	18.7	19.3
窒素	3.6	3.4	5.5	6.6
リン	0.61	0.62	0.65	0.64

(11/12) (11/21)

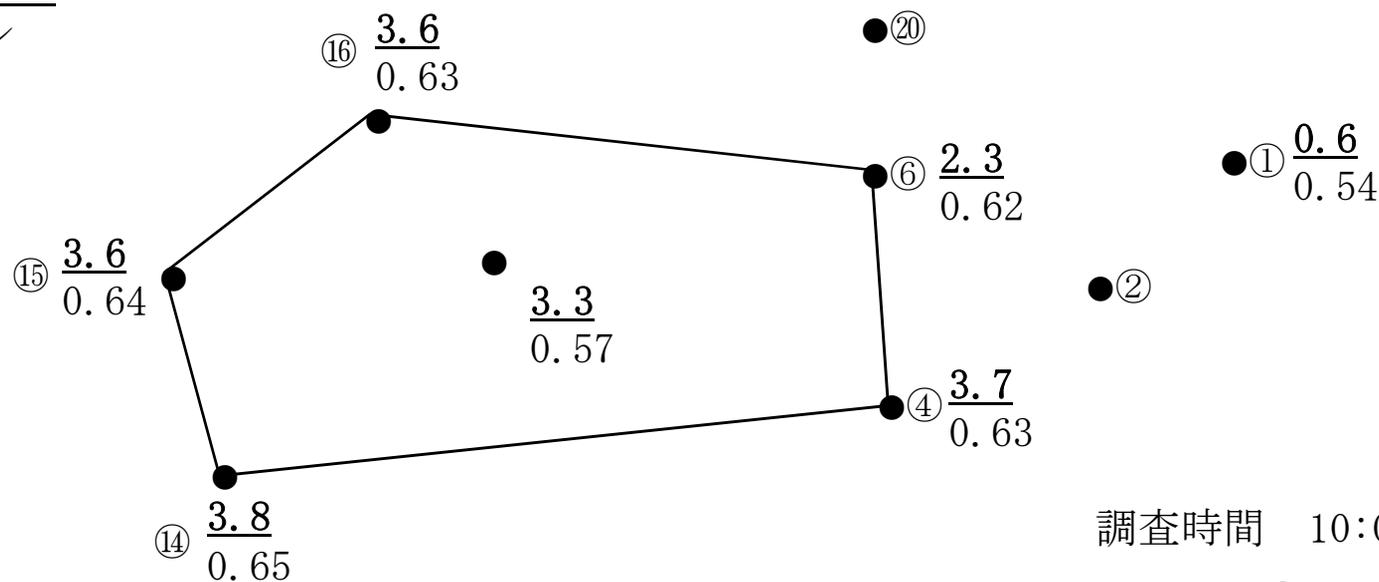
2019年11月20日調査

## 栄養塩図

潮：干潮

窒素

リン



調査時間 10:01~10:51

(カンタマ① 7:59 下げ潮)

## 水温・塩分図

水温

塩分

